



国連世界防災白書 2011 の発表 Global Assessment Report on Disaster Risk Reduction “Revealing Risk, Redefining Development”

〈2011年5月25日（水）14:00 - 16:00〉

日時： 2011年5月25日（水）14:00 - 16:00

会場： 国際連合大学（5階 エリザベス・ローズ・ホール）
〒150-8925 東京都渋谷区神宮前5丁目53-70

主催： 国際連合国際防災戦略事務局（UNISDR）
国際連合大学（UNU）

後援： 外務省

使用言語： 英語

プログラム：

- 歓迎の挨拶： コンラッド・オスターヴァルダー氏（国際連合大学学長・国際連合事務次長）
- 開会の挨拶： 外務省
- 国連世界防災白書 2011 プレゼンテーション
アンドリュー・マスケレイ氏（UNISDR 国連世界防災白書コーディネーター）
- 「触れる地球」プレゼンテーション
竹村 真一氏（京都造形芸術大学 教授）
- パネルディスカッション： 災害リスクを明らかにし、開発を再定義する
ファシリテーター： スリカーンタ・ヘーラト氏
（国際連合大学 サステナビリティと平和研究所 学術審議官）

パネリスト：

- 国際協力機構（JICA）
- サンドラ・ウー氏（国際航業ホールディングス株式会社 代表取締役社長）
- 岡崎 健二氏（政策研究大学院大学 教授）
- 竹村 真一氏（京都造形芸術大学 教授）
- アンドリュー・マスケレイ氏（UNISDR 国連世界防災白書コーディネーター）
- 閉会の挨拶： 是澤 優氏（アジア防災センター 所長）

* 国連世界防災白書 2011（英語）及び要約版（日・英）を会場にて配布します。

登録方法（無料）

下記をご記入の上、5月20日（金）までに isdr-hyogo@un.org にメールにてお送りください。
（英語での表記も併せてお願いいたします。）

- お名前
- ご職業（国家公務員、外交官、国際機関職員、大学職員、研究員、学生、会社員、メディア他）
- ご所属、役職、勤務先住所（機関、企業、大学等）
- E-mail および電話番号

注意事項：国連大学で開催されるイベントへの招待状は、そのイベントの開催地または開催国へ入国する為の特別な許可を与えるわけではありません。国連大学及び UNISDR では、参加者の渡航および宿泊の手配は申し受けていませんので、ご了承ください。警備上の理由から、お申し込みおよび当日のご入場をお断りする場合があります。会場に、駐車場はありません。国連大学本部ビル内は禁煙です。

お問い合わせ： UNISDR 駐日事務所

Eメール： isdr-hyogo@un.org

電話： 078-262-5550

国連世界防災白書 2011

「災害リスクを明らかにし、開発を再定義する」

国連世界防災白書 2011 は、災害が何百万人も命や生活を破壊し続けている中、作成された。2010 年 1 月にハイチで起きた壊滅的な地震や 2010 年 7 月のパキスタンの洪水の影響は、如何に災害リスクと貧困が緊密に結びついているかを表している。一方、2011 年に起きたオーストラリアの洪水、ニュージーランド・クライストチャーチの地震、東日本の地震・津波によりもたらされた大惨事は、本白書が強調するように、先進国も災害に多々曝されていることを明確に示している。国際的にはあまり注目されなかったものの、気候変動に伴う何百ものより小規模の災害が、ベニン、ブラジル、コロンビア、フィリピンなどに甚大な被害を及ぼした。これらの災害は、既存の開発格差や災害に曝されている経済・人口の増加を通じて、如何に災害リスクが継続的に構築されるかを浮き彫りにしている。

2009 年の第 1 版に続いて第 2 版となる本書では、世界の災害リスクについて理解し、分析するための最新情報を提供する。新しく整備された大量のデータに基づき、災害リスクの傾向とパターンを世界、地域、そして国レベルにおいて深く掘り下げている。同時に、130 以上の政府が兵庫行動枠組 (HFA) の実施の進捗についての自己評価に取り組んでいて、国レベルの防災への取り組みについて、最も包括的に世界の現状を概観することに貢献している。2000 年に設立された国際連合国際防災戦略事務局 (UNISDR) は、地方、国、地域あるいは国際レベルで災害リスクに対処する活動を調整するための枠組みを提供している。HFA は、2005 年に兵庫県神戸市において UNISDR が開催した国連防災世界会議において 168 カ国により採択され、災害リスク軽減のために HFA に提言されている一連の主要な取り組みが、すべての国により実施されることを促している。国連世界防災白書は、災害リスクの問題に対する国際的な関心を集め、政治的・経済的支援や、災害リスク軽減のための取り組みの強化に貢献することが期待される。

本白書は、国連機関、地域・技術機関、各国政府、市民社会ネットワーク、学術研究機関、その他広範な ISDR パートナーなど多くのグローバル・パートナーとの協働の下、UNISDR が編纂したものである。日本政府、ノルウェー政府、スイス政府、アメリカ合衆国政府、欧州委員会 (EC) からの財政的支援によることを特筆する。

国連世界防災白書 2011 は、5 月 8~13 日にジュネーブで開催される防災に関するグローバル・プラットフォーム第三回会合において、国連事務総長より紹介される予定である。
(<http://www.preventionweb.net/globalplatform/2011/>)

国連世界防災白書 2011 の発表イベントは、5 月のグローバル・プラットフォーム後、UNISDR の各オフィスにより世界中で開催される。この一環として、日本では、5 月 25 日、東京の国連大学にて、UNISDR 駐日事務所と国連大学による共催、外務省の後援により発表フォーラムを開催する。本発表フォーラムは、防災・災害リスク軽減の課題に対する更なる関心を集め、また、日本を拠点に防災分野に従事する人々に、現状や課題について最新の情報を提供する機会となると期待される。本白書のコーディネーターによる国連世界防災白書 2011 のプレゼンテーションに続いて、「触れる地球」の実演と、ハイレベルなパネリストや著名な専門家らを迎えてのパネル・ディスカッションを予定している。

お問い合わせ: UNISDR 駐日事務所
Eメール: isdr-hyogo@un.org
電話: 078-262-5550
www.unisdr.org